

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議についてはここ何年か家族代表同じ方に参加していただいている。入居者様現状参加しておられない。	家族代表の交代をすることによって、他の家族からの意見を聞くことができる。また入居者様の参加を実施することによって、入居者様の思いを聞くことができる。	次年度に向けた家族代表の選出、入居者様の参加方法、進め方について会議で職員の意見を聞き実践に向ける。	12ヶ月
2	7	権利擁護・成年後見制度について、言葉は聞いたことがあるが、内容についての理解が乏しい。	権利擁護・成年後見人制度について学ぶ。	年間勉強会に権利擁護・成年後見人制度を入れる。市町村の講師の方を依頼し、講義をしていただく。また家族の方で興味のある方がいないか？参加をうかがう。	12ヶ月
3	13	モニタリング表の評価が短期目標に従ってのモニタリングで評価しにくいと言う声が上がっている。また介護記録表が全員同じ様式で、個別のプランを実施したのか根拠とするには不十分な面がある。	モニタリング表の評価をサービス内容ごとに評価できるように様式を変え、評価しやすいようにする。介護記録表を個別にチェックする項目を作り、モニタリングの根拠とするに十分なものにする。	モニタリングの表の様式変更・介護記録表の様式変更	12ヶ月
4	17	特別養護老人ホームと合同で、年二回避難訓練を実施しているが、グループホーム単独での訓練は実施されていない。	グループホームにおける、避難訓練を行う。入居者様の状態に応じた避難方法の検討。	他事業所の避難訓練の取り組みを参考に聞く。勉強会で避難訓練について話し合う。グループホームでのマニュアルを作成する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。